

徳島県における 艾葉栽培マニュアル





艾葉

品種 ヨモギ

栽培マニュアル

基原種名 ヨモギ *Artemisia princeps* Pampaniniまたは
オオヨモギ *Artemisia montana* Pampanini (Compositae)

作業内容

●穂木の選抜 (7月下旬～)

- ・生育が良好で元気な個体を選抜する。
- ・縦に伸びる性質や葉の形状など収益の上がる品種を選ぶ



●挿し木 (7月下旬～)

- ・穂木の下葉2枚を切り取り、茎の切り口に発根促進剤をつけ、挿し木する。
※茎の中間部分の挿し木や花芽の付いたものは使用しない。
※茎や葉のしっかりした穂木を使用する。



●セルトレーの管理 (8月上旬～)

- ・根が伸長し土が崩れない程度まで管理する。(2週間程度)
- ・寒冷紗で強い日差し対策をする。



●圃場の準備 (9月上旬)

- ・トラクターで深さ20cm程度まで深耕する。
- ・元肥は圃場の肥沃度に応じて、堆肥・ヨウリン・化成肥料を施肥する。



●畝立・マルチ設置 (9月中旬)

- ・畝幅約1400cm、播種面約1200cm、高さ5～20cmの高畝をつくる。
- ・畝間に防草シートを張るか、全面マルチ栽培とする。



●定植 (9月中旬～)

- ・定植機で条間30cm、株間30cmの2条植えとする。



● 除草 (11月～6月)

- ・株丈が30cm程度になるまで、除草作業は適宜除草する。
- ※収穫後、製品への雑草混入を防ぐためにもこまめに行う。



● 病虫害の防除 (4月～6月)

- ・株の生育が進み、風通しが悪い状況が続くと病虫害が発生しやすくなる。
- ・病虫害の発生を確認されたら、使用許可のとれた農薬を適宜使用する。
- ※農薬は、使用回数、希釈量(倍液)、希釈水量を守る事



● 収穫 (4月上旬～9月中旬)

- ・20cm以上の株丈に生育したら、改良シソ刈り機にて先端部を刈り取る。
- ※夏場になると花序を形成するため、収穫時は混入に注意する
- ※収穫前には必ず除草作業を行い雑草の混入を防ぐ。



● 乾燥 (4月上旬～9月中旬)

- ・収穫後、植物体が蒸れないうちに乾燥を行う。
- ・葉が黒く変色しないよう、温度管理には気を配る。
- ※平型乾燥機もしくは電気乾燥機を使用する。



● 刈込 (11月上旬)

- ・秋の年内最終の収穫後、地きわから刈り込む。
- ※株の生育状況から見て同じ圃場での栽培は3年を目途とする。



● 追肥 (3月・8月)

- ・3月(油粕・鶏糞・BMようりん)
- ※ようりんは葉にかかっても大丈夫な製品をしようしないと葉が赤くなる。
- ・8月(油粕・鶏糞)



生育内容

● 萌芽 …… 3月～4月下旬ころ

● 繁茂 …… 5月～7月下旬ころ

● 開花 …… 8月～10月下旬ころ

● 枯れ上がり …… 12月月上旬

● 穂木の選抜 …… 7月下旬ころ

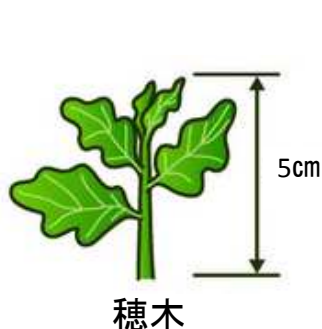
—栽培ごよみ—

[illegible]

①穂木の選抜

育苗

- 1) 穂木の選抜(7月下旬～)
 - ・生育がよく、葉の面積が広い、多収益品種を選抜する。
- 2) 挿し木(7月下旬)
 - ・セルトレーに培養土を敷き詰め、穂木の下葉2枚を切り取り、挿し木する。
※茎の中間部分や花芽のついた茎は使用しない。
※茎の切り口に発根促進剤を塗布する。
- 3) セル苗の確保(8月上旬)
 - ・根が伸長し土が崩れない程度まで管理する。(約2週間)



②圃場の準備

栽培

- 1) 圃場の準備(9月上旬)
 - ・トラクターで深さ20cmまで深耕する。
 - ・元肥は圃場の肥沃度に応じて、堆肥、ヨウリン、化成肥料を施肥する。



完熟堆肥 2t/10a



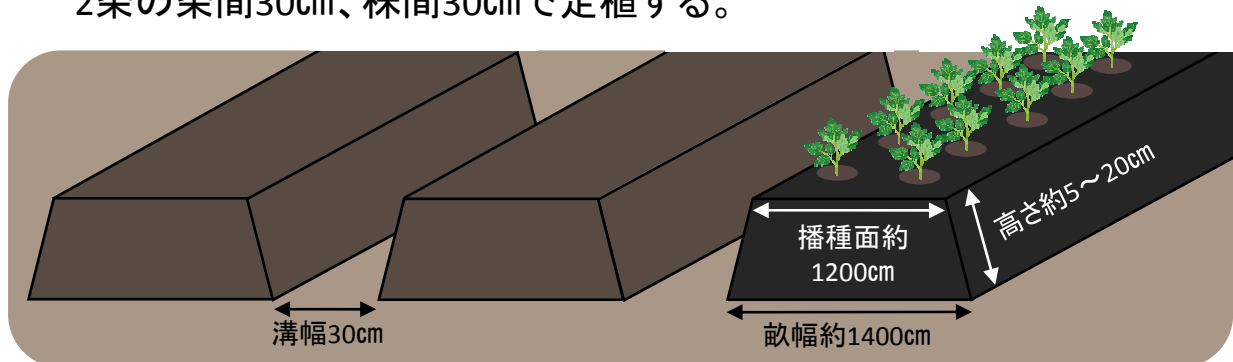
ようりん 40～60kg/10a



化成肥料 50～70kg/10a

③畝立・マルチ設置

- 1) 畝立・マルチ設置 (9月中旬)
 - ・畝幅約1400cm、播種面約1200cm、高さ5～20cmの高畝をつくる。
 - ・畝間に防草シートを設置する。
- 2) 定植 (10月下旬)
 - ・ヨモギまたはオオヨモギの地下茎を、定植機でマルチに穴を開けつつ、2条の条間30cm、株間30cmで定植する。



④除草作業

- 1) 除草 (11月～6月)
 - ・株丈30cm程度になるまで、除草作業は適宜除草する。
 - ※収穫後の製品への雑草混入を防ぐためにも必ず実施する。
- 2) 病虫害の防除 (4月～6月)
 - ・生育が進み、風通しが悪い状況が続くと病虫害が発生し易くなる。
 - ・病虫害の発生を確認されたら、使用許可のとれた農薬を適宜使用する。
 - ※農薬は、使用回数、希釈量(倍液)、希釈水量を守る事。



さび病



斑椿



アブラムシ



アオムシ

⑤収穫作業

収穫 (4月上旬～9月中旬)

- ・20cm以上の株丈に生育したら、改良シソ刈り機にて先端部を刈り取る。
- ※夏場になると花序を形成するため、収穫時は混入に注意する
- ※収穫前には必ず除草作業を行い雑草の混入を防ぐ。



よもぎ圃場



収穫写真

⑥追肥作業

追肥 (6月上旬～10月上旬)

- ・地上部刈り取り後に追肥を行う
- 追肥の例) 油粕160kg/10a 鶏糞160kg/10a、BMようりん40kg/10a
※ヨウリンがないと葉が赤くなる



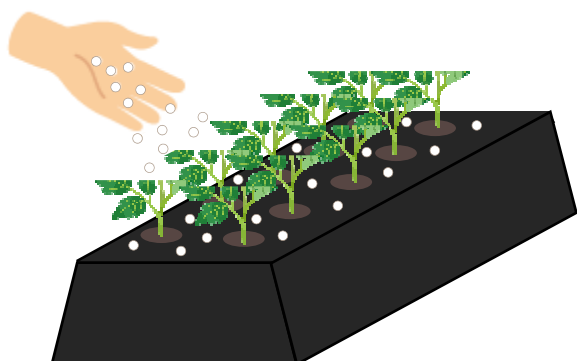
油粕 160kg/10a



鶏糞 160kg/10a



BMようりん 40kg/10a



※地上部刈り取り後に追肥を行う

肥料の例

油粕160kg/10a 鶏糞160kg/10a
BMようりん40kg/10a